令和8(2026)年度

全国学力・学習状況調査

結果分析



下野市教育研究所

令和8年１１月

令和８(2026)年度「全国学力・学習状況調査」結果分析

令和８年１１月
下野市教育委員会

調査について

１　調査の概要（「全国学力・学習状況調査」実施要領より一部抜粋）

（１）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２）調査実施日

令和８(2026)年４月２３日（木）

（３）調査対象

①小学校調査：小･義務教育学校第６学年
②中学校調査：中学校第３学年、義務教育学校第９学年

（４）調査事項及び手法

①教科に関する調査

・小学校調査：国語、算数
・中学校調査：国語、数学、英語
※中学校調査の英語は、ICT 端末を用いたオンライン方式で実施

②児童生徒質問調査

・内　容：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等
・方　法：ICT 端末を用いたオンライン方式
・質問数：（小学校）79 項目
（中学校）86 項目

③学校質問調査

・内　容：指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等
・方　法：ICT 端末を用いたオンライン方式
・質問数：（小学校）95 項目
（中学校）101 項目

（５）留意事項

本調査の結果は、学力の特定の一部分であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童生徒の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意する。

２　本市の参加状況　※参加人数は最も多かった教科のもの

調査対象内訳	参加校数	参加人数
小・義務教育学校第６学年	９校	494人
中学校第３学年・義務教育学校第９学年	４校	434人

本市の結果について

※小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含む

1　概要

◎　大きく上回っている（5ポイント以上）、〇　上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
－　同じ（±1ポイント未満）
▽　下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）、▼　大きく下回っている（5ポイント以上）

【教科に関する調査の結果】※下野市と県、全国の平均正答率の比較

小学校第６学年			中学校第３学年		
教　　科	県との比較	全国との比較	教　　科	県との比較	全国との比較
国　　語	〇	〇	国　　語	〇	〇
算　　数	〇	〇	数　　学	◎	◎
			英　　語	※	※

※中学校英語については、各学校で出題された問題が異なるCBT調査のため、県・全国との比較なし

2　結果の推移（全国平均正答率との比較）

◎　大きく上回っている（5ポイント以上）、〇　上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
－　同じ（±1ポイント未満）
▽　下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）、▼　大きく下回っている（5ポイント以上）

【直近 10 年間の結果】

学年	教　科	H29	H30	H31	R２		R３	R４	R５	R６	R７	R８
小学校第六学年	国語A	〇	〇	〇	一斉実施なし		〇	〇	〇	〇	◎	〇
	国語B	〇	〇									
	算数A	〇	〇	〇			〇	〇	〇	〇	◎	〇
	算数B	〇	〇									
	理　科		〇					〇			◎	
中学校第三学年	国語A	－	〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇	〇
	国語B	〇	〇									
	数学A	〇	－	〇			〇	〇	〇	〇	〇	◎
	数学B	〇	〇									
	理　科		〇					◎			※	
	英　語			〇					〇			※

※平成 31 年度よりA問題とB問題の区分なし
※令和７年度中学校理科については、各学校で出題された問題が異なるCBT調査のため、県・全国との比較なし
※令和８年度中学校英語については、各学校で出題された問題が異なるCBT調査のため、県・全国との比較なし

各教科の結果について



1　国語

（１）小学校第６学年

◎　大きく上回っている（５ポイント以上）
○　上回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
－　同程度（±１ポイント未満）
▽　下回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
▼　大きく下回っている（５ポイント以上）

①　教科の正答率

	全　体
県との比較	○
全国との比較	○

②　学習指導要領の内容別正答率

	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
県との比較	○	◎	○	○	◎
全国との比較	○	○	○	○	◎

③　観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	○
全国との比較	○	○

④　問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	◎
全国との比較	○	○	◎

⑤　考察

・教科全体、各種別ともに、平均正答率が県及び全国を上回る結果となった。
・「読むこと」の領域における、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る大問では、県及び全国を大きく上回る正答率となった。自分の考えをまとめるためには、既有の知識や理解した内容を結び付けて自分の考えを形成することが重要であり、単元の学習の中で必要感のある言語活動を設定し、目的をもって読むことで、必要な情報を取捨選択し、自分の考えを形成する思考力を身に付けてきたと考えられる。
・「書くこと」の領域では、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかを見る問題において、県及び全国の平均正答率を下回った。文章全体の構成や展開を考える際には、伝えたいことを明確にした上で、首尾一貫した展開となるよう、つながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えるなど、論の進め方に注意する力が身に付くような指導の工夫が求められる。

（２）中学校第３学年

◎　大きく上回っている（５ポイント以上）
○　上回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
－　同程度（±１ポイント未満）
▽　下回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
▼　大きく下回っている（５ポイント以上）

①　教科の正答率

	全　体
県との比較	○
全国との比較	○

②　学習指導要領の内容別正答率

	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
県との比較	○	◎	○	○	○
全国との比較	○	◎	◎	○	○

③　観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	○
全国との比較	○	○

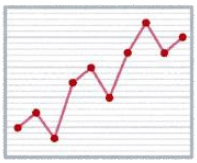
④　問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	○
全国との比較	○	○	○

⑤　考察

・教科全体、各種別ともに、平均正答率が県及び全国を上回るまたは、大きく上回る結果となった。
・「話すこと・聞くこと」の領域では、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかを見たり、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかを見たりする問題で、全国の正答率を大きく上回る結果となった。互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、引用と考えを区別して話したり書いたりするなど、情報を整理する学習活動を繰り返す中で、情報を整理しながら考えをまとめる思考力や表現力を高めてきた成果と考えられる。
・文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかを見る問題では、県及び全国の平均正答率を下回る結果となった。文脈から意味を捉えて漢字を正しく書くことができるように、漢字の持つ意味を考えさせる指導が求められる。

２　算数・数学



（１）小学校第６学年

◎　大きく上回っている（５ポイント以上）
〇　上回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
－　同程度（±１ポイント未満）
▽　下回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
▼　大きく下回っている（５ポイント以上）

①　教科の正答率

	全　体
県との比較	〇
全国との比較	〇

②　学習指導要領の内容別正答率

	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
県との比較	〇	〇	〇	〇	〇
全国との比較	〇	〇	〇	〇	〇

③　観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	〇	〇
全国との比較	〇	〇

④　問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	〇	◎	〇
全国との比較	〇	〇	〇

⑤　考察

・教科全体及び各種別すべての正答率において、県及び全国の平均正答率を上回る結果となった。
・整数と小数の減法の計算では県及び全国の平均正答率を大きく上回った。このことから、小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、数を表したり大小を比較したり計算したりする力が身に付いている児童が多いと言える。一方、「数と計算」の同じ大問の中でも、数直線上の１を表す目盛りを捉える問題では県及び全国の平均正答率を下回った。数直線については、目盛りの一つ分の大きさがいくつを表しているかを見いだす力を付けていくことが必要である。学習においては、単位分数に着目し、単位分数そのものの大きさや幾つ分の大きさについて、実感を伴い理解できるような学習展開の工夫が求められる。

（２）中学校第３学年

◎　大きく上回っている（５ポイント以上）
○　上回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
－　同程度（±１ポイント未満）
▽　下回っている（１ポイント以上　５ポイント未満）
▼　大きく下回っている（５ポイント以上）

①　教科の正答率

	全　体
県との比較	◎
全国との比較	◎

②　学習指導要領の内容別正答率

	数と式	図形	関数	データの活用
県との比較	○	◎	◎	◎
全国との比較	○	◎	◎	◎

③　観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	◎
全国との比較	○	◎

④　問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	◎	◎
全国との比較	○	◎	◎

⑤　考察

・教科全体及び各種別のすべての正答率において、県及び全国の平均正答率を上回る結果となった。特に、「関数」、「データの活用」の領域では、すべての問題において、県及び全国の平均正答率を大きく上回る良好な結果となった。
・「図形」の領域において、筋道を立てて考え証明する問題では、表現力が求められる記述式の問題において、県及び全国の平均正答率を大きく上回った。証明するために必要な事柄の知識と、図形からそれを見いだす力が身に付いていると考えられる。
・「数と式」の領域において、問題場面における考察の対象を明確に捉えて式を変形する問題や、事柄が成り立つ理由を文字を使って説明する問題では、県及び全国の平均正答率を下回った。学習においては、数に関する事象を考察する場面において、成り立ちそうな事柄を予想し、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考えを説明するなどの学習活動を行うなど、帰納的に考える経験を積むことが大切である。

３　英語



〇中学校第３学年

①～④　令和８年度中学校英語については、各学校で出題された問題が異なるCBT調査のため、県・全国との比較なし

⑤　考察

・「読むこと」「書くこと」の領域では、社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く問題が出題された。文章全体を読み通した上で、複数の情報を取り出し、どの情報が重要かを判断することはできているが、読んだ内容について、自分が考えたことなどを、理由を交えて書くことに課題が見られた。読んだ内容について、自分の考えをメモに整理させたり、ペアでやり取りさせ、話題に関する理解を深めさせたりするなど、聞くことや話すこと、読むことの活動と関連付けて指導を行うことが考えられる。また、英文を書いた後に推敲を行わせ、表現の適切さや正確さを高める指導が求められる。
・「話すこと」の領域では、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す問題が出題された。聞いて分かった情報を活用し、聞き手に話して伝えることに課題が見られた。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの設定を工夫し、生徒が事実や自分の考え、気持ちなどを即興で話したり、質問したりする活動を継続して行い、知識を活用して話す技能を身に付けることができるよう指導することが大切である。

学習状況調査（児童・生徒質問調査）の結果について

１　生活習慣に関連する項目

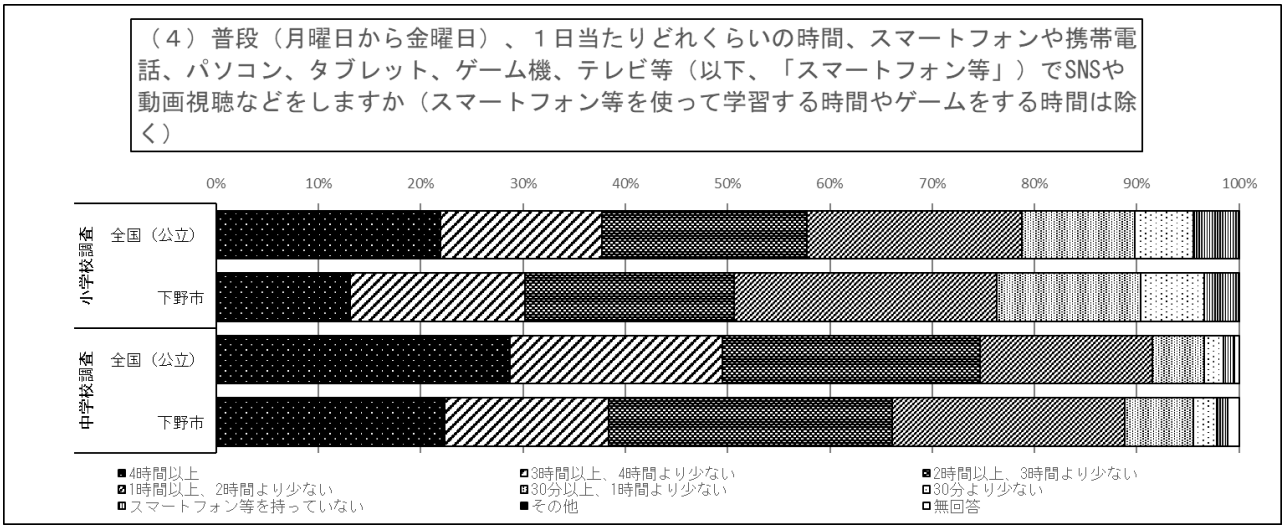
朝食、就寝時刻、起床時刻に関する項目では、肯定的回答の割合が全国を上回る結果となった。昨年度と比較すると、朝食を摂取している児童生徒の割合が高くなっている。望ましい食習慣の確立に向けた中学校区ごとの様々な取組や学校と家庭が連携した取組を継続してきた成果と考えられる。

普段、１日当たり２時間以上３時間未満スマートフォン等でSNSや動画視聴などをする児童生徒の割合は、全国を上回る結果となった。

今後も規則正しい生活習慣の大切さやスマートフォン等の使い方を児童生徒に指導するとともに、家庭への啓発を引き続き行い、好ましい生活習慣の確立を継続させていくことが求められる。

質問番号	質　問　事　項	小学校（%）		中学校（%）	
		市	全国	市	全国
（１）	朝食を毎日食べていますか	**96.6**	93.3	**95.2**	90.9
（２）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	**87.2**	82.8	**82.7**	80.5
（３）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	**93.9**	90.7	**92.9**	92.4

※数値は肯定的回答の合計



２　自己有用感、人との関わりに関連する項目

全国と比較し、同程度または上回る結果となった。小・中学校共に(11)(12)(14)の項目において、肯定的回答の割合が特に高かった。一因として、先生方が児童生徒に寄り添った言葉掛けや対応を行い、児童生徒が互いを思いやり信頼し合える雰囲気や環境づくりに努めていることが挙げられる。

今後も、児童生徒に寄り添いながら一人一人のよさを認め伸ばしていく指導の継続をお願いしたい。また、児童生徒が自分のよさや強みを実感し、自己有用感を高められるよう互いに認め合い、協力し合う場を設定するなどの工夫を行うことが考えられる。

質問番号	質　問　事　項	小学校（%）		中学校（%）	
		市	全国	市	全国
（８）	自分には、よいところがあると思いますか	**86.6**	85.6	**83.2**	84.0
（９）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	**91.0**	91.4	**94.5**	90.9
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	**82.9**	81.8	**74.2**	67.6
(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか	**93.2**	92.7	**93.9**	90.8
(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	**97.6**	96.2	**98.2**	95.1
(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	**65.0**	70.6	**66.7**	71.9
(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	**96.0**	95.8	**95.9**	95.9
(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか	**85.8**	85.7	**85.0**	85.4
(16)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	**79.9**	77.9	**76.1**	78.6
(17)	友達関係に満足していますか	**90.8**	91.1	**87.9**	91.2
(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	**73.7**	69.6	**77.7**	67.5
(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか　※「よくある」「ときどきある」の合計	**92.4**	92.5	**91.8**	91.0

※数値は肯定的回答の合計

３　学習習慣、家庭・地域に関連する項目

全国と比較し、学校の授業時間以外に勉強をする習慣が身に付いている児童生徒や休日に２時間以上勉強をする児童生徒の割合が高い結果となった。一方で、「自分で学び方を考え工夫すること」について、肯定的回答の割合は全国を下回る結果となった。授業や家庭学習において、児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けたり、調べ方や整理の仕方を工夫する場面を設けたりするなど、児童生徒の自主的・自発的な学習が促されるよう工夫することが求められる。

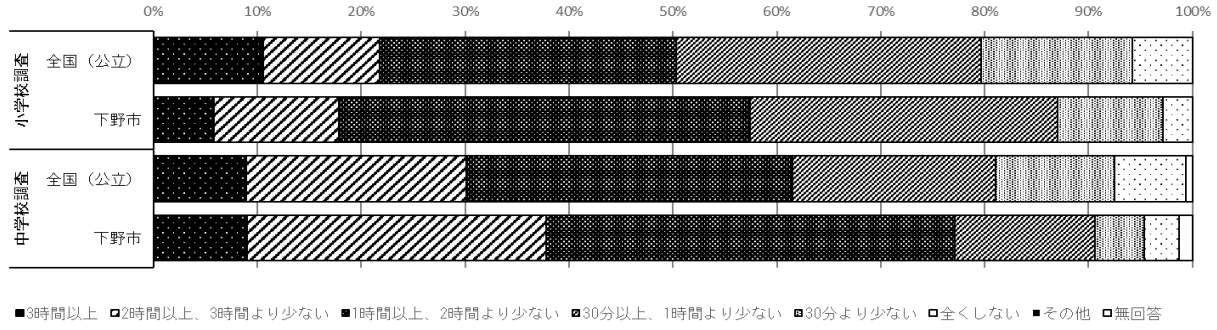
「新聞を読む」と回答した児童生徒の割合は、全国を上回っている。中学校調査では、「学校の授業時間以外に読書を全くしない」という回答の割合が全国を上回る結果となった。児童生徒の読書習慣の形成、自主的・自発的な読書活動や学習活動の促進のため、読書に親しむ機会を広げる取組を継続していただきたい。

質問番号	質　問　事　項	小学校（%）		中学校（%）	
		市	全国	市	全国
（６）	学校の勉強のことにつて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか ※「ほぼ毎日」「週に１～２回」の合計	**74.7**	75.0	**75.9**	72.2
（７）	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか ※「ほぼ毎日」「週に１～２回」の合計	**29.5**	35.5	**39.8**	36.4
(22)	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	**77.5**	79.4	**74.4**	78.2

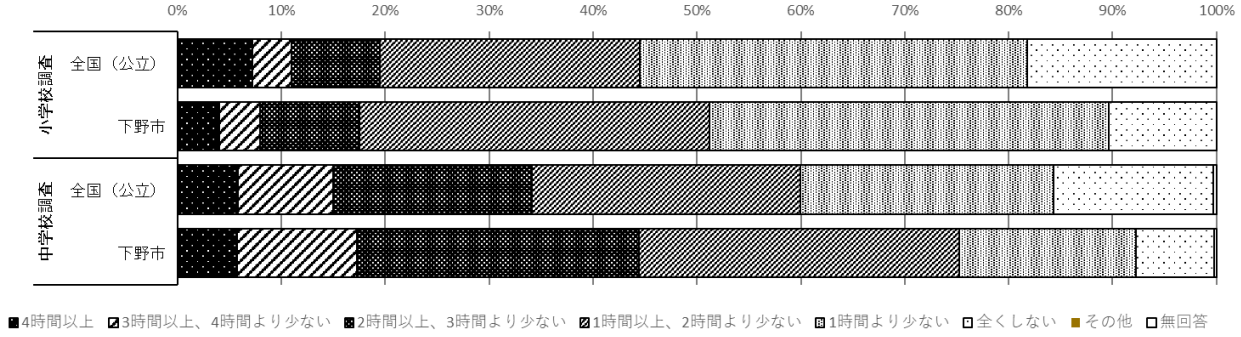
(30)	新聞を読んでいますか *※上段：月に１～３回程度と回答した割合* *下段：週に１～３回程度と回答した割合*	**16.7** **7.4**	12.0 6.6	**12.8** **8.2**	9.6 4.4
(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	**78.3**	80.1	**72.6**	72.3

※数値は肯定的回答の合計

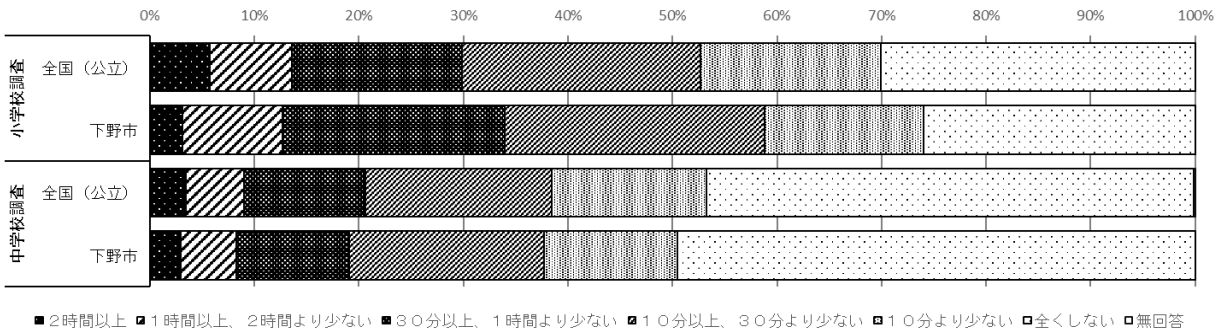
（２３）学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



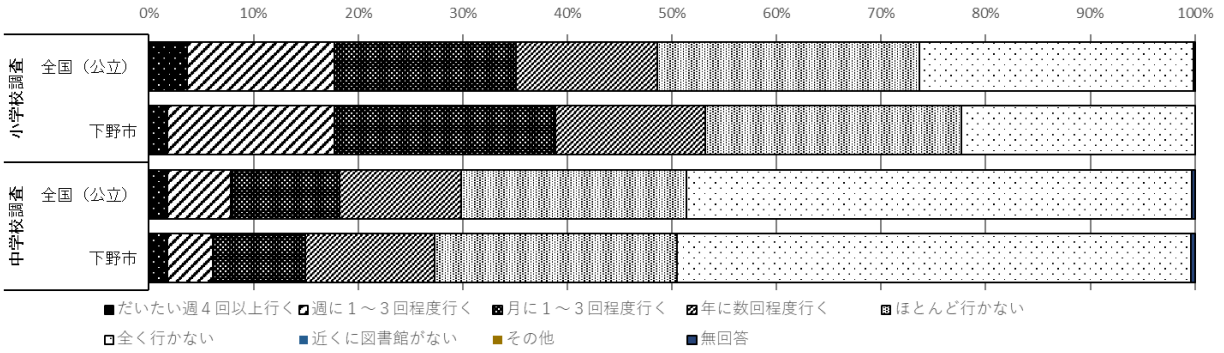
（２５）土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



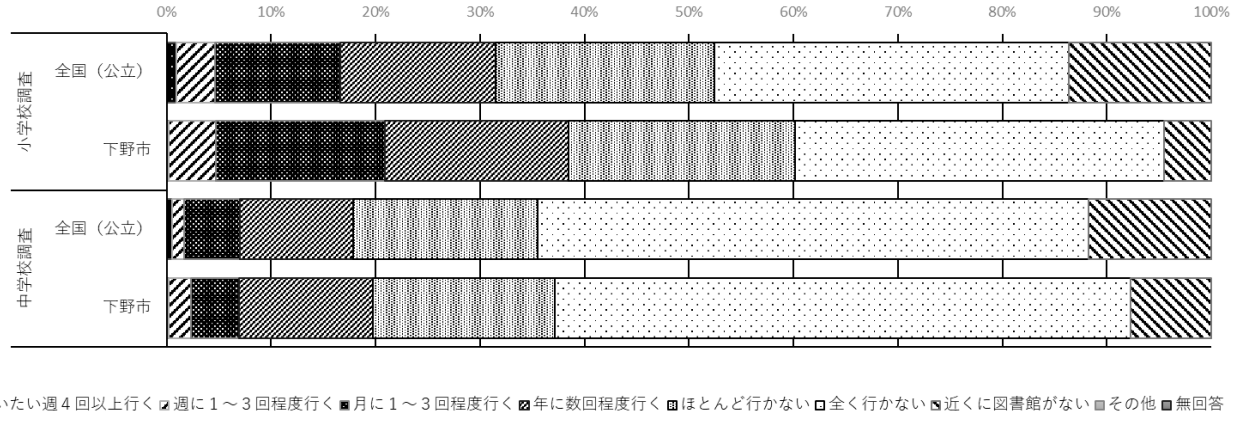
（２６）学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



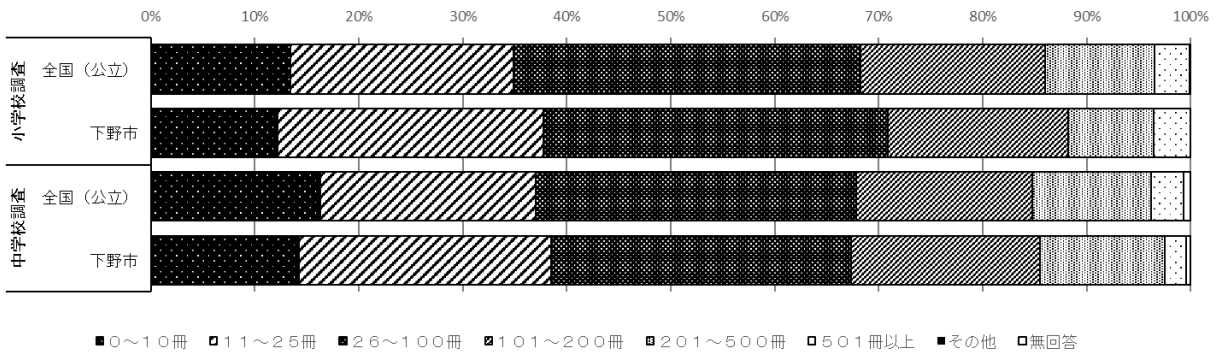
（２７）昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか



（２８）放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか



（２９）あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）

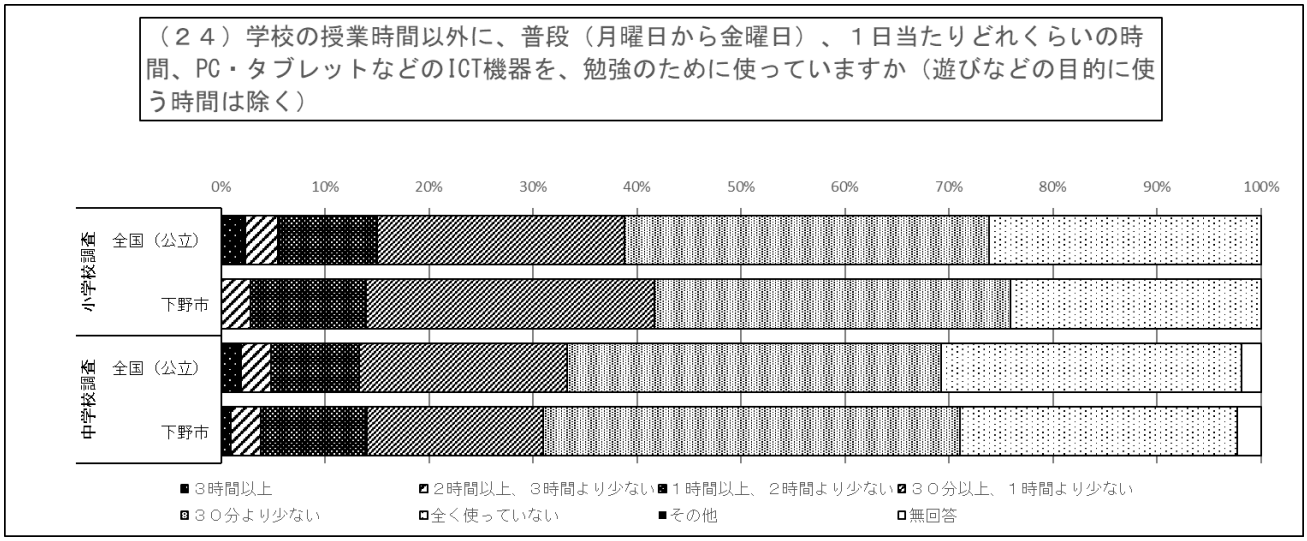


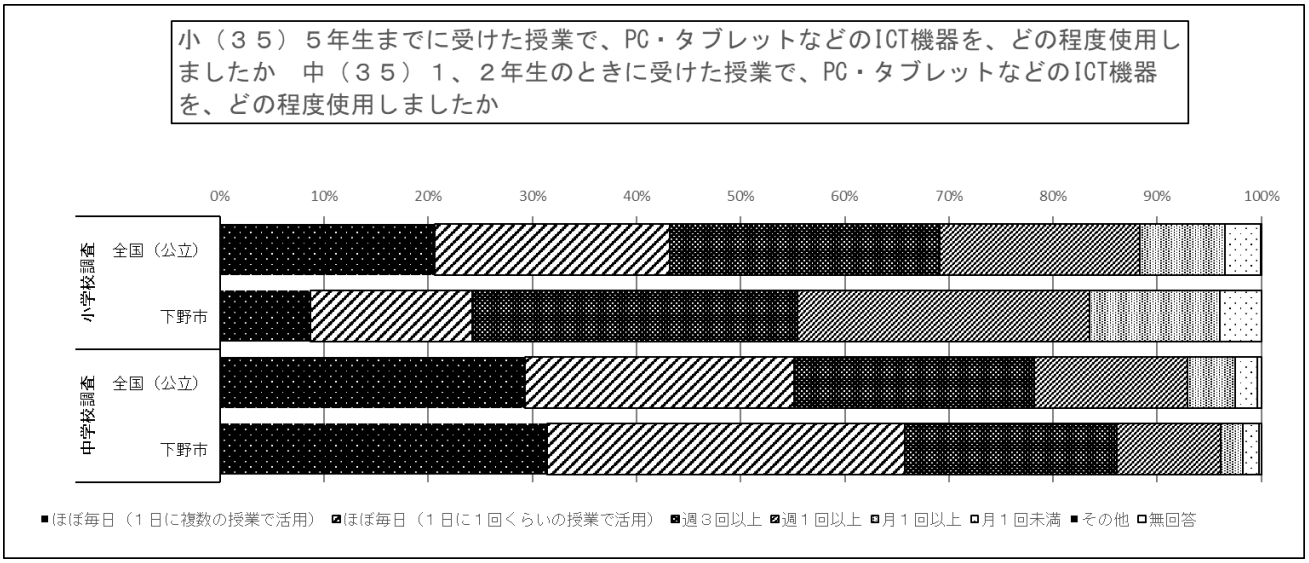
４　ICT 機器の活用に関連する項目

全国と比較し、肯定的回答の割合が高い結果となった。ICT 機器の活用に関する項目では、文章の作成や情報収集を行うことについて、肯定的回答の割合が高い傾向が見られた。授業中の ICT 機器の活用については、昨年度と比較すると「ほぼ毎日」と回答した割合は、中学校では約 13%高くなっている。児童生徒が自身の目的に応じて ICT 機器を活用できるよう、１人１台端末の基本操作の習得やプログラミング的思考の育成に向けた指導を各教科等の学習の中で計画的に進めることが考えられる。また、情報活用能力の育成に向けて、小中一貫教育との関連を図りながら、中学校区で連携し、取組を継続していただきたい。

質問番号	質　問　事　項	小学校（%）		中学校（%）	
		市	全国	市	全国
(36-1)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	**79.7**	79.1	**86.3**	84.8
(36-2)	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか	**85.9**	84.9	**90.0**	90.9
(36-3)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか	**69.7**	69.5	**70.4**	69.4
(36-4)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	**78.3**	74.6	**82.5**	80.0

※数値は肯定的回答の合計





５　教科に関連する項目

今回調査の対象となったのは、調査で扱った国語、算数・数学、英語の３教科である。「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすること」「友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組むこと」について、肯定的回答の割合が高い傾向が見られた。

教科の学習について、「将来社会に出たときに役に立つ」「授業の内容はよくわかる」と考えている児童生徒の割合に比べて、「各教科の勉強が好き」と考えている児童生徒の割合が下がる傾向が見られた。児童生徒が学ぶことの楽しさや達成感を味わうなど、主体的に学ぶことのよさを実感したり、 教科等の学習と社会をつなぐ各教科等の「見方・考え方」を働かせながら自らの考えを広げ深めたりできるよう工夫することが考えられる。今後も、自らの学習を調整しながら主体的に考え表現できる児童生徒の育成に向けて、学びの手応えを実感できる授業づくりに努めていただきたい。

質問番号		質　問　事　項 ※（　）は中学校	小学校（%）		中学校（%）	
小	中		市	全国	市	全国
（３８）	（３８）	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	**64.9**	66.4	**71.8**	65.5
（３９）	（３９）	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	**76.9**	77.6	**84.1**	78.8
（４０）	（４０）	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	**76.7**	73.4	**79.5**	70.8
（４１）	（４１）	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	**83.3**	80.8	**83.6**	78.9
（４２）	（４２）	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	**87.2**	85.7	**90.5**	87.0

(43)	(43)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	**83.9**	78.4	**82.2**	79.0
(44)	(44)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	**82.3**	80.8	**73.6**	78.0
(45)	(45)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	**85.8**	87.3	**84.3**	85.2
(46)	(46)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	**90.3**	91.4	**93.8**	92.4
(47)	(47)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	**83.8**	79.9	**92.0**	80.8
(48)	(48)	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	**83.8**	79.7	**89.9**	81.7
(49)	(49)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動) で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	**84.2**	81.5	**90.3**	84.5
(50)	(50)	学級会 (学級活動) における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	**80.7**	77.3	**83.4**	77.8
(51)	(51)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	**89.1**	86.9	**96.4**	91.3
(52)	(52)	国語の勉強は得意ですか	**59.3**	60.4	**55.3**	51.6
(53)	(53)	国語の勉強は好きですか	**59.7**	57.4	**54.9**	57.2
(54)	(54)	国語の授業の内容はよく分かりますか	**83.7**	81.5	**76.7**	76.8
(55)	(55)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	**91.9**	90.4	**91.4**	88.2
(56)	(56)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	**75.7**	78.1	**77.4**	73.0
(57)	(57)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	**75.3**	75.1	**75.2**	71.8
(58)		５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか	**83.7**	80.7		
(59)		５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか	**81.7**	78.3		
	(58)	１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか			**90.4**	84.8
	(59)	１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか			**80.6**	76.1
(60)	(60)	算数・数学の勉強は得意ですか	**61.8**	60.1	**56.3**	48.5

(61)	(61)	算数・数学の勉強は好きですか	**57.8**	57.6	**62.0**	56.1
(62)	(62)	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	**77.0**	77.5	**79.5**	74.2
(63)	(63)	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	**93.2**	91.0	**77.2**	76.5
(64)	(64)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか	**84.2**	83.2	**63.4**	63.0
(65)	(65)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	**84.0**	81.7	**81.3**	77.8
(66)	(66)	５年生まで（１、２年生のとき）に受けた授業では、算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	**68.9**	63.0	**79.7**	60.4
(67)		５年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか	**89.9**	88.3		
	(67)	１、２年生のときに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか			**74.1**	68.4
(69)	(69)	英語の勉強は得意ですか	**57.0**	59.8	**34.1**	39.5
(70)	(70)	英語の勉強は好きですか	**64.8**	66.7	**45.1**	51.2
	(71)	英語の授業の内容はよく分かりますか			**58.6**	64.2
	(72)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか			**84.0**	87.6
(71)	(73)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	**44.8**	45.4	**29.4**	34.1
	(74)	キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか			**69.1**	76.7
(72)		これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどの ICT 機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	**45.6**	46.2		
	(75)	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）			**34.4**	36.6
	(78)	１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか			**87.0**	85.1
	(79)	１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか			**86.1**	82.8

	（８０）	１、２年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか ※「よく行った」「どちらかといえば、行った」の合計			51.4	61.3

※数値は肯定的回答の合計

小（７３）中（７６）家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか

